

会議名	第3回千郷地域協議会		公開 (一部非公開)
日時	平成30年6月24日(日) 午後0時45分～午後4時05分	場所	西部公民館 多目的ホール
出席者	(委員) 今泉 隆男、竹下 松太郎、老平 悦朗、物部 恭喜 鈴木 勝吉、山本 松宏、中尾 知久、岩瀬 功、大木 英男、 村田 憲治、市川 博三、西妻 正好、鶴井 良久、丸山 正雄 西野 雄次、近藤 武、宮原 麻衣子、森野 真智子、岡山 薫 長瀬 三平、御宿 三男、田嶋 正吾、中野 克俊、玉井 悦子 鈴木 ゆみ子、鈴木 誠、老平 千昌、杉下 尚由、仲井 敬太郎		
	(事務局) 企画部：三浦部長 企画部自治振興課：西村課長、早川主査、中村主査、黒田主任 川合主任 千郷自治振興事務所：鈴木所長、宮本主査 八名自治振興事務所：八木所長		
欠席者	(委員) 古本 喜之	傍聴者	4名
配布資料	次第、会場レイアウト、千郷地域自治区地域活動交付金審査基準、 審査除外者一覧表、平成30年度千郷地域活動交付金公開審査資料		

議題・議事・発言等 (要点記録)

1 開会

会長(山本松宏氏)より開会にあたり、本日の出席者数が定数に達している旨の説明と、これに伴い本協議会が成立することの報告を行った。

会長あいさつ

会長が挨拶を行った後、次第に従い2事務局説明に入る。

議事録署名者選出

議事に先立ち、会議録署名委員を会長より指名。

今回は「鈴木勝吉」委員、「岩瀬功」委員の2名を指名し、お願いすることとなった。

2 事務局説明

事務局より、地域活動交付金の審査方法及び注意事項について説明を行った。

(1)説明5分、質問7分、採点3分。なお事前に通知した質問事項についての回答は説明時に加味して行う。

(2)説明時にタイマーを事務局より申請団体に対しお渡しし、1分前になったら事務局よりボードにてお知らせする。

(3)採点票記入欄には活動に対する応援メッセージや疑問に感じた理由を記入する。

3 公開審査（プレゼンテーション）

審査①

団体名：千郷西こども園保護者会

事業名：子育て交流座談会

質問事項：なし

審査②

団体名：千郷中こども園母の会（※プレゼンテーション省略）

事業名：子どもの健全育成事業

質問事項：（事前質問回答）

①「今後も活動を継続して行く予定はあるか」とのことですが、千郷地区では新規転入や核家族が増えていることから、子育てに不安を感じている新米ママの存在があり、またそうした方が気軽に相談できる場などが少ないと考え、こうした事を少しでも解消できる仕組みや体制づくりをしようと今回活動申請を計画した。こうしたことから単年度のみではなく今後継続もするつもりで次年度役員への引継ぎの際には、目的や実施内容など詳しく説明し継続実施することを促すが、次年度役員の判断となる。また、千郷地域の3園との連携が図れるよう、SNSなどの3園のネットワークがあるため、こうしたものを活用し活動報告などを通じ今後の活動がより良いものや効果的なものとなるよう情報共有をしっかりと行って次年度に繋げて行くことも考えている。

②「未就園児への連絡は具体的にどのようにすることをお考えですか」とのことですが、現在は千郷中こども園周辺の行政区（諏訪、稲木、野田、大野田、中市場、上市場東住宅）へのチラシ回覧を各区長にご協力いただきお願いすることや、その他に若いお母さん達は回覧をあまり見ないとの意見もあったため、役員を始め園に通園している親など個々にご自宅から近い、まだ園とは関わりの無い小さなお子さんのいるご家庭への呼びかけを実施し、なるべく多くの親子さんに参加をしていただく事で地域の繋がりを強化していければと考えている。

③「ファミリーサポートセンターの講師は、何か特別な資格を持っている方なのでしょうか」とのことですが、今回講師としてお願いする2人の方は現在鳥原児童館で働いている方であり、もともとは保育士として働いていた経験を持っている方です。こうした方が今回来ていただけることによって、児童館に行ったことがない親が顔見知りの方が働いているのであれば今度行ってみようという気になっていただけると良いと考えている。

※審査会での質問事項：なし

審査③

団体名：稲木GHC委員会

事業名：公民館活性化事業

質問事項：（委員）

放送システムを導入するとのことであるが、公民館室内のみのシステムであるのか、または、室外に向けても放送が可能であるのか、具体的にどの程度のものを予定しているか。

(説明者)

今回導入するものは切り換えにより、室内外どちらでも使用可能なものを予定している。

審査④

団体名：白子区

事業名：白子公民館備品等収納場所拡大事業

質問事項：なし

審査⑤

団体名：豊島区自治会

事業名：豊島区に公園を

質問事項：(委員)

継続であり昨年全体整備予定面積の3分の1程度を立木(竹)伐採作業が完了したとのことだが、昨年度伐採したところには、再度竹など生えて来てないのか。

(説明者)

小さなものはやはり少しは生えて来ているが、大きな竹の子については成長が止まっている。

(委員) 本年度の作業量は昨年度同程度の面積を予定しているのか。

(説明者)

本年度も全整備計画面積のうち3分の1程度を予定している。

(委員)

次年度も残りの3分の1を伐採することとなると思うが、公園整備までを整備するのは3年計画では難しいのではないか。

(説明者) 3年間でとりあえず計画している対象地の竹の伐採は、すべて完了したいと考えている。

(委員)

3年間ですべて伐採が完了した後は、どのように公園を整備することを考えているか。

(説明者)

現在、区民に意見を求めているところであるが、大きな事は出来ないと考えており、とりあえず遊歩道など凸凹な地形を活かした自然的な、くつろげるスペースを考えているが、正直どのような公園(広場)にするのかは今後検討を進めることとしている。

(委員)

公園整備をする場所であるが、申請されている場所は豊島区の中でもかなり端にあると思うが、国道151号に近い自宅の方などが利活用するには遠くないか。

(説明者)

おっしゃられるとおりですとしかお答えできません。

審査⑥

団体名：花・笑顔・ふれあう会（※プレゼンテーション省略）

事業名：花による景観づくり事業

質問事項：（事前質問回答）

- ①「昨年度と比べて活動実施面積が半分程度に減っているがその理由は」
とのことであるが、活動に携わる方が高齢者が多く管理が大変であることから、本年度は面積を縮小して活動することとした。
- ②「地域の参加者が少ないことや、草刈り作業の苦勞が多いと昨年の報告書に記載あるが、本年度活動実施に当たり工夫はあるか」とのことであるが、区民への活動周知を徹底するとともに、作業を手伝っていただける方の呼びかけや募集を行っている。

※審査会の場合での質問事項

（委員）

ほとんど単年草であると思うが、多年草や球根類、花木などの植え付けは考えていないか。

（説明者）

過去に一度「なばな」をやってみたものの、やはり管理が大変で現在の形に戻した経緯がある。逆に良いものがあれば教えていただけると助かるが。

（委員）

「スイセン」や「彼岸花」などは、それほど手を入れなくても大丈夫であり管理も楽なうえ、次年度以降も時期になると生えてくるので良いと思うが。

（説明者）

今後の活動の参考にさせていただく。

審査⑦

団体名：千郷ミニバスケットボールクラブ

事業名：地域コミュニケーション活性化事業

質問事項：（委員）

事業周知のため区長へお願いし各行政区への回覧は考えてないか。

（説明者）

現在、市の広報誌「ほのか」のイベント広告欄に掲載させてもらい周知を図ることとしているが、区長が回覧することに承諾していただければ、回覧をお願いしたい。

（委員）

今後は代表区長と打合せのうえ、回覧することで周知向上が図られると感じ、また回覧はある程度ご高齢の方なども見るため、本事業のテーマでもある、各年代の方とのコミュニケーションの活性化を図るためには、是非そうしてください。

審査⑧

団体名：川田公民館運営委員会（※プレゼンテーション省略）

事業名：活動拠点の整備事業（公民館敷地石垣の改良）

質問事項：（事前質問回答）

①「公民館で行う具体的な活動を教えてください」とのことであるが、区の会合すべてであり、例を挙げると体育委員やその他委員会による会合、婦人部、区民総会など、また、組長会や各組の引継ぎ、盆踊りなどのイベント等の打合せ等です。さらに、公民館運営委員による会合のほか、老人クラブやPTA・子供会など他の川田の各団体でも多く使用されている。公民館の使用日数は年間延べ200日、人数については延べ3,300人です。

②「平日の公民館利用状況（活動状況）を教えてください」とのことですが、各配布物の調整は月2回必ず実施しているほか、健康体操・カラオケなどや各種会合でも使用することが多くある。

※審査会の場合での質問事項：なし

審査⑨

団体名：川田原区自治会

事業名：川田原区防災拠点整備事業

質問事項：（委員）

事前質問であった今後仮設トイレや寝具等の整備は考えられているか、との質問の回答がされていないが、先日あった大阪の例を挙げると震度が大きな災害を受けた場合建物は全壊ないし半壊が多い。そうなった場合公民館の室内へ避難することは出来ない事が想定され、さらに外にテントを設け避難することになりトイレは当然使用出来ない。そうした場合のお考えをもう少し具体的にお答えください。

（説明者）

自然災害であることで地震による震度の想定を何度かに設定したらよいかなどは詳しく設定していないが、現在の家屋倒壊の想定は川田原全域の戸建て2割を想定であり、出来る範囲の防災備品の整備をしようと言うことで実施している。また、仮設トイレは昨年度5セット購入したほか、ビニールシートもある程度装備していることから、そうしたものをうまく活用することを考えている。寝具については3年ほど前より区民より使用しなくなった毛布の提供をお願いしているところであるが、現在20枚程度となっている。

（委員）

防災倉庫2については食料を一部備蓄している様子がみえるが、日陰ではなく、夏場などは倉庫内部はかなりの温度となることが予想されるが、こうした食料の備蓄品は大丈夫か。

（説明者）

長いものでは5年で賞味期限も本年度きれるものもあるが、耐熱倉庫であるため50度位まで上がるが、中に備蓄しているものの限界保てる温度であるが今後保管に対し検討する必要がある。

(委員)

以前にも質問したが、備蓄品などは要請すれば他の行政区の方などにも提供は可能か。

(説明者)

昨年度もご質問あった件ですが、本区でそれほど大きな被災がなければ要請さえしていただければ当然提供することを考えている。

審査⑩

団体名：千郷東こども園保護者会（※プレゼンテーション省略）

事業名：子育て交流座談会

質問事項：(事前質問回答)

①「前年度活動実施した際の課題点や反省点を教えてください」とのことであるが、初年度の活動実施ということもあり、想定人数によりもかなり少ない来場者であった。

②「また、課題点や反省点を踏まえ改善や工夫した点を教えてください」とのことであるが、チラシや回覧など広く活動を周知することはもちろんのこと市内の未就園児の親子を対象とした親子ふれあい広場という催しものがあるため、これに参加している方にも積極的に声かけをすることで多くの方に参加を促すことを考えている。

※審査会での質問事項：なし

審査⑪

団体名：徳定区自治会

事業名：徳定川沿い赤道舗装

質問事項：なし

4 公開審査終了

5 非公開の審議（審査のまとめ）

■事務局進行により、集計結果報告を行った。

※申請団体毎に、審査票に「審査しない」とチェックした委員は離席。

申請毎に意見・コメントを読み上げ、以下の内容について協議。

- 無条件採択
- 意見を付して採択（努力義務）
- 条件付き採択
- 一部不採択（補助対象経費の一部減額措置等）

■決定事項

申請事業毎に協議を行い、審査結果についてすべて承認された。

また、事前に委員に対しお渡ししていた申請団体審査資料については個人情報保護のため事務局により回収し、代わりとして傍聴者等へ配布した資料と同様な書類を配布。

6 閉会

《事務連絡》

(1) 次回の地域協議会開催日程等について

第4回千郷地域協議会

(1)日時：平成30年7月18日（水）19：00

(2)内容：地域自治区予算事業の検討について開催予定。